

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|---|---------------------------------------|-------|-----------------------|----------|------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業J-T | 事業名 | |
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 104660 | 地域スポーツ推進事業 | |
| 総合計画 | 分野 | 人づくり | | | | |
| | 政策 | 3-4 | スポーツの振興 | | | |
| | 施策 | 1 | 生涯スポーツの推進 | | | |
| 目的 | 地域スポーツ（生涯スポーツ）の推進を図る。 | | | | | |
| 対象 | スポーツ指導員、スポーツ推進委員、地域スポーツ普及員、参加を希望する市民等 | | | | | |
| 意図 | | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| ①スポーツ指導員の配置（スポーツ振興課） ②スポーツ推進委員の配置（市内40名） ③地域スポーツ普及員の配置（市内333名：各行政区選出） ④早起きマラソンの開催 ⑤スポーツ教室、イベント等の開催 ⑥ニュースポーツ等の普及 ⑦ニュースポーツ交流大会の開催 ⑧スノースポーツフェスティバルの開催 | | | | | | |
| 市民参画の有無 [] | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 | 実行委員会・協議会 | 事業協力・協定 | | |
| | | 後援・協賛 | 補助・助成 | 委託 | | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | | 単位 | 区分 | 28年度(実績) | 29年度(実績) | 30年度(計画) |
| ① | 早起きマラソン延べ参加者数 | | 計画 | 186,700 | 186,700 | |
| | | | 実績 | 158,314 | 154,845 | |
| ② | 市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数。 | | 計画 | 5,500 | 5,500 | |
| | | | 実績 | 3,876 | 5,822 | |
| ③ | | | 計画 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | | 単位 | 区分 | 28年度(実績) | 29年度(実績) | 30年度(計画) |
| ① | 地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数 | | 目標 | 230,000 | 191,000 | |
| | | | 実績 | 174,404 | 172,792 | |
| ② | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| ③ | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | <input type="radio"/> | 概ね目標値どおり | | 目標値より低い |

| | |
|--|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | |
| 早起きマラソンの延べ参加者数は、少子化によって児童生徒の絶対数が減少していることによって、減少していると考えられる。スポーツ教室については、スポーツ推進委員の積極的な活動により、地域での教室数が増えていることから、増加につながった。 | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない スポーツ基本法、花巻市スポーツ推進計画に基づき、地域スポーツの振興・推進を行政が行うことで、市民のニーズに合ったイベントや教室、スポーツ指導が行えるため、公共の関与は不可欠である。 |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない 早起きマラソンの延べ参加者数は、新規会場の設置により参加者数の増加が期待できる。また、スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ教室等を充実させることにより、参加者数の増加が期待できる。 |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 必要最小限の事業費・人件費で行われており、削減余地はない。 |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 市民が、誰でも、いつでも、いつまでも、気軽にスポーツに取り組むために、広報などにより周知し、受益の機会の均等を図っているほか、保険料等の受益者負担があるため、適正である。 |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | |
| 地域スポーツの推進のために、早起きマラソンをはじめとする各種事業を行い、一定の成果があった。早起きマラソンについては、さらに会場を増やしていき、参加者の増加を見込んでいきたい。スポーツ教室等は、市体育協会との事業のすり合わせを行い連携を深めているため、魅力ある教室や講習会等の回数を増やしている最中で、さらなる推進が見込まれる。 | |

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|------------|
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 104660 | 地域スポーツ推進事業 |

単位：千円

| | | 28年度 決算額(A) | 29年度 決算額(B) | 30年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 17,669 | 18,926 | | 1,257 |
| 財 源 内 訳 | 国・県 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 17,669 | 18,926 | | 1,257 |

| | |
|----------|--|
| ※特定財源の内訳 | |
| | |

| 事業期間 | 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|-------|------|-----------------|
|------|-------|------|-----------------|

部重点施策における目標

スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ（現、地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。

事業概要

- ①スポーツ指導員の配置（スポーツ振興課）
- ②スポーツ推進委員の配置（市内40名）
- ③地域スポーツ普及員の配置（市内333名：各行政区選出）
- ④早起きマラソンの開催
- ⑤スポーツ教室、イベント等の開催
- ⑥ニュースポーツ等の普及
- ⑦ニュースポーツ交流大会の開催
- ⑧スノースポーツフェスティバルの開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

新たな課題として、子供の体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるような取り組みと、2極化傾向に対応したスポーツの機会の提供等の取り組みが必要である。（注：2極化とは、スポーツをすることしない子の差が激しくなっていることを指す。）
早起きマラソンは、子供の体力向上はもちろん、「早寝、早起き、朝ごはん」という規則正しい生活の習慣づけに非常に良い事業である。しかし、ほとんどの会場が旧花巻地域であり他地区への普及が課題である。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①スポーツ指導員の配置 2,274千円

報酬1,967（1人）、共済費307

- ・生涯スポーツの指導実践・市民スポーツ教室の企画、運営

②スポーツ推進委員の配置 2,146千円

報酬1,800（45×40人）、旅費280、役務費66

- ・ニュースポーツ、生涯スポーツの普及、指導・各種スポーツ教室の企画、運営
- ・岩手県、東北、全国の研修会への参加
- ・各地区（振興センター単位）へのニュースポーツの普及

③地域スポーツ普及員の配置 1,309千円

謝礼1,309（各地区協議会へ200＋会員数割（1人分3千円））

- ・地域（生涯）スポーツの普及、指導・実践・各地域スポーツ教室の企画、運営

④早起きマラソン 2,087千円

謝礼1,440、記念品144、需用費501、役務費2

- ・5月7日から10月体育の日まで（156日間）、市内67会場にて開催
- ・延べ総参加者約154,845人（1日当たり、1,000名程）
- ・普及月間（5月～6月）、強調月間（7月～10月）
- ・年間三賞（皆勤、精勤、努力賞）の表彰

⑤スポーツ教室、イベント等の開催 529千円

鉛温泉スキー場イベント179（スキー場開き、スキー場まつりの開催）

子どもチャレンジランキング大会150

体力テスト業務委託200

⑥ニュースポーツ等の普及 261千円

報償費10、需用費10、備品241

⑦ニュースポーツ交流大会 150千円

毎年2月中旬に総合体育館で開催、6種目

⑧スノースポーツフェスティバルの開催 216千円

市民スキー大会の開催

⑨その他経費 9,954千円

時間外6,089、賃金1,635（補助員1人、大会作業員、看護師等）、報償費12、旅費343、

需用費1,178、役務費88（自動車保険料等）、富士大開放委託43、自動車借上397、重量税46

花巻市スポーツ審議会開催（報酬）72、県ロード看板（委託）51

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|--|---|---|--|---|------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 104670 | 地域スポーツ支援事業 | |
| 総合計画 | 分野 | 人づくり | | | | |
| | 政策 | 3-4 | スポーツの振興 | | | |
| | 施策 | 1 | 生涯スポーツの推進 | | | |
| 目的 | 地域スポーツ（生涯スポーツ）の支援を行う。 | | | | | |
| 対象 | 花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会、花巻市スポーツ少年団本部、総合型地域スポーツクラブ、実行委員会等 | | | | | |
| 意図 | 地域スポーツ（生涯スポーツ）の普及、健康増進、体力向上を図る。 | | | | | |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | | |
| ①花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会 地域スポーツ振興事業補助金の交付（総合型地域スポーツクラブ等活動支援） ②花巻市スポーツ少年団本部事業補助金の交付 | | | | | | |
| 市民参画の有無 【 対象外 】 | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | <input type="radio"/> 共催 <input type="radio"/> 後援・協賛 | <input type="radio"/> 実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成 | <input type="radio"/> 事業協力・協定 <input type="radio"/> 委託 | | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | | 単位 | 区分 | 28年度(実績) | 29年度(実績) | 30年度(計画) |
| ① | 体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室等の実施回数 | 回 | 計画 | 150 | 320 | / |
| | | | 実績 | 377 | 358 | |
| ② | スポーツ少年団本部への登録者数 | 人 | 計画 | 2,400 | 2,260 | / |
| | | | 実績 | 2,254 | 2,181 | |
| ③ | | | 計画 | | | / |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | | 単位 | 区分 | 28年度(実績) | 29年度(実績) | 30年度(計画) |
| ① | 体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室の延べ参加者数 | 人 | 目標 | 3,000 | 3,000 | / |
| | | | 実績 | 6,458 | 6,073 | |
| ② | | | 目標 | | | / |
| | | | 実績 | | | |
| ③ | | | 目標 | | | / |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | <input type="radio"/> | 目標値より高い | 概ね目標値どおり | 目標値より低い | | |

| | | |
|--|-------------------------------------|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | | |
| 市体協体育振興事業及びスポーツ少年団本部事業の支援により、企画事業数及び参加者数が目標値を達成した。 スポーツ少年団本部登録者は、少子化により減少しているものの、近年、市体育協会が魅力あるスポーツ教室を開催しているため、延べ参加者数は目標値に達成した。 | | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 | 市が行いたい体育振興事業を花巻市体育協会が代行しており、補助金として支援しているため、公共の関与は妥当である。 |
| | <input type="radio"/> 妥当である | |
| | <input type="radio"/> 見直し余地がある | |
| 有効性 | 成果の向上余地 | 市体協体育振興事業及びスポーツ少年団本部事業によって、体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室の延べ参加者数は目標値を達成した。さらなるスポーツ教室の開催支援の継続により参加者数の一層の増加が図ら |
| | <input type="radio"/> 向上余地がある | |
| | <input type="radio"/> 向上余地がない | |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 | 花巻市体育協会への地域スポーツ振興事業補助金で人件費を補助しており、事業費も現在の水準を保つためには削減の余地はない。 |
| | <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある | |
| | <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある | |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 | 各種スポーツ教室を花巻市体育協会へ補助金として支援しているが、受益者に広報や区長配布などで広報し、受益機会は均等であるといえる。 |
| | <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある | |
| | <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある | |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | | |
| 地域住民の健康増進、スポーツ普及のため、花巻市体育協会と協働し、市から必要な支援を行っており、スポーツ教室の参加者数の目標値を達成した。しかしながら昨年度実績と比較すると減少しているため、より一層の支援を行う必要がある。支援とは単に補助金額を増加させるだけではなく、広報活動、指導者の派遣など、市の経費負担を抑えつつ行っていくべきと考えられる。 | | |

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|------------|
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 104670 | 地域スポーツ支援事業 |

単位：千円

| | | 28年度 決算額(A) | 29年度 決算額(B) | 30年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 24,649 | 23,543 | | △ 1,106 |
| 財 源 内 訳 | 国・県 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 24,649 | 23,543 | | △ 1,106 |

※特定財源の内訳

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

| 事業期間 | 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|-------|------|-----------------|
|------|-------|------|-----------------|

部重点施策における目標
スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ（現、地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。

事業概要

- ①花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会 地域スポーツ振興事業補助金の交付（総合型地域スポーツクラブ等活動支援）
- ②花巻市スポーツ少年団本部事業補助金の交付

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①地域スポーツ振興事業補助金 23,043千円

事業主体 一財 花巻市体育協会、石鳥谷町体育協会、大迫町体育協会、東和町体育協会
事業概要

- スポーツ大会開催、各種競技団体への補助（花巻市体育協会）
- 総合型スポーツ教室の企画、運営⇒幼児・小学生～高齢者まで生涯スポーツの普及推進
幼児マット教室、小学生陸上、卓球、ハンドボール教室、中高年体幹トレーニング等
H29 延べ件数358回、参加者数6,073人
- プロ（トップ）スポーツ観戦支援事業補助
- 旧3町体育協会への補助（～H28：花巻市体協から交付 H29～市から交付）

②スポーツ少年団本部事業補助金 500千円

事業主体 花巻市スポーツ少年団本部
・H29は、74団体（野球、サッカー、バスケットボール等）加盟
・登録料 指導者：@1,200円 団員：@500円

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
| 団体数 | 79 | 78 | 75 | 75 | 74 |

事業概要

- 指導者育成を図る
スポーツリーダー養成講習会、指導者講習会への派遣
- 選手強化、競技の普及を図る
スポーツ少年団大会（野球、ソフトボール等）への補助

事業費 2,069（県登録費1,147、事業費（大会、研修等）717、事務局費等205）
うち、補助対象経費1,027千円*1/2≒514千円